

# 道東事業部新ラインアップの紹介

## ①搾乳牛用スタンダードシリーズ

### はじめに

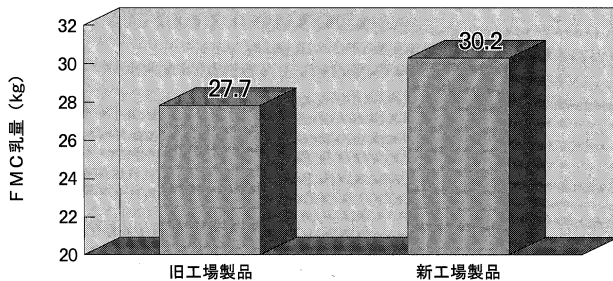
雪印種苗、日本農産、三菱商事の合弁会社として設立された道東飼料は、今年の1月より稼動しております。それに伴い、道東事業部のラインアップが新しくなりました。そこで今回から3回のシリーズで道東飼料製品についてご紹介致します。

### スタンダードシリーズの共通の特徴

- ペレット&フレークタイプの配合飼料です。
- 生産性を高めるため、フレークの加工条件を変化させたとうもろこしのフレークを組み合わせることにより、炭水化物の分解スピードを調整しました。
- 各種ビタミンを配合しています。

図1は当社北海道研究農場で旧工場製品と新工場製品の配合飼料の産乳成績を比較したものです。α化度の違う、とうもろこしのフレークを組み合わせることにより、第一胃内でのエネルギー供給の効率化を図り、乳生産性をアップさせました。

図1 産乳成績の比較



### TDN71~74%シリーズ

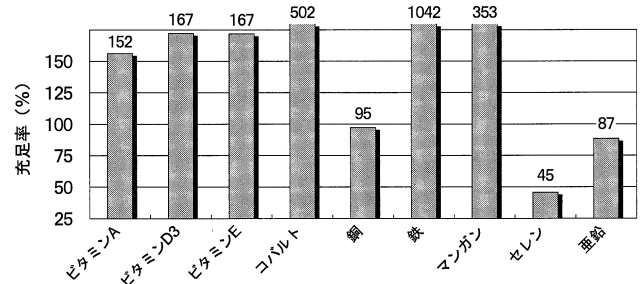
- 「レイク16、18」：TDN71%シリーズ
- 「ランド16、18、20」：TDN72%シリーズ
- 「フォレスト16、18、20」：TDN73%シリーズ
- 「ウインド16、18、20」：TDN74%シリーズ

### TDN75~76%シリーズ

- 「ネイチャー18、20、22」：TDN75%シリーズ
  - 「ワンダー16、18、20」：TDN76%シリーズ
- このシリーズは前述の特徴に加え、以下のような特徴があります。
- ビタミンA、D<sub>3</sub>、Eについて、要求量を満たすように配合されています(図2)。

- 蹄病、乳房炎に効果のある硫酸亜鉛メチオニンを配合しました。
- 吸収のよい有機ミネラルを配合しました。
- ワンダーシリーズはバイパスタンプクを強化しました。

図2 乳量40kgの牛に対し、ワンダー18を10kg給与した際の充足率(2001年版NRC飼養標準要求量に対して)



### 有機ミネラルとは?

ミネラル(銅、亜鉛、マンガン、コバルト)がアミノ酸とペプチド結合したもので、これにより吸収率が高くなります。これらの有機ミネラルの給与により、免疫活性向上、蹄の強化、繁殖成績向上が期待できます。

### 放牧用配合飼料

- 若草14、16(TDN76%)

放牧時期、高タンパクサイレージ給与時期に適した配合飼料で、下記のような特徴があります。

- ハーブから抽出したオイルの働きにより、タンパク質の分解性を調整します。
- 第一胃内での炭水化物の分解スピードを調整し、生産性を高めます。
- 以上のことから、繁殖成績の向上が期待できます。使い方として、
- 放牧時期でスプリングフラッシュのようなタンパクが高くなるときは「若草14」を、放牧草のタンパクが下がってきたときは「若草16」に切り替えてください。
- ボディコンディション、糞の状態、MUN(乳中尿素窒素)などの乳成分を見て、適切な栄養バランスであるかを確認してください。(道東事業部業務課 松本)

**雪印種苗株式会社**

編集発行人 菊地 庸

本社 004-8531 札幌市厚別区上野幌 一条五丁目一番八号

TEL(011) 891-1591

FAX(011) 891-1577